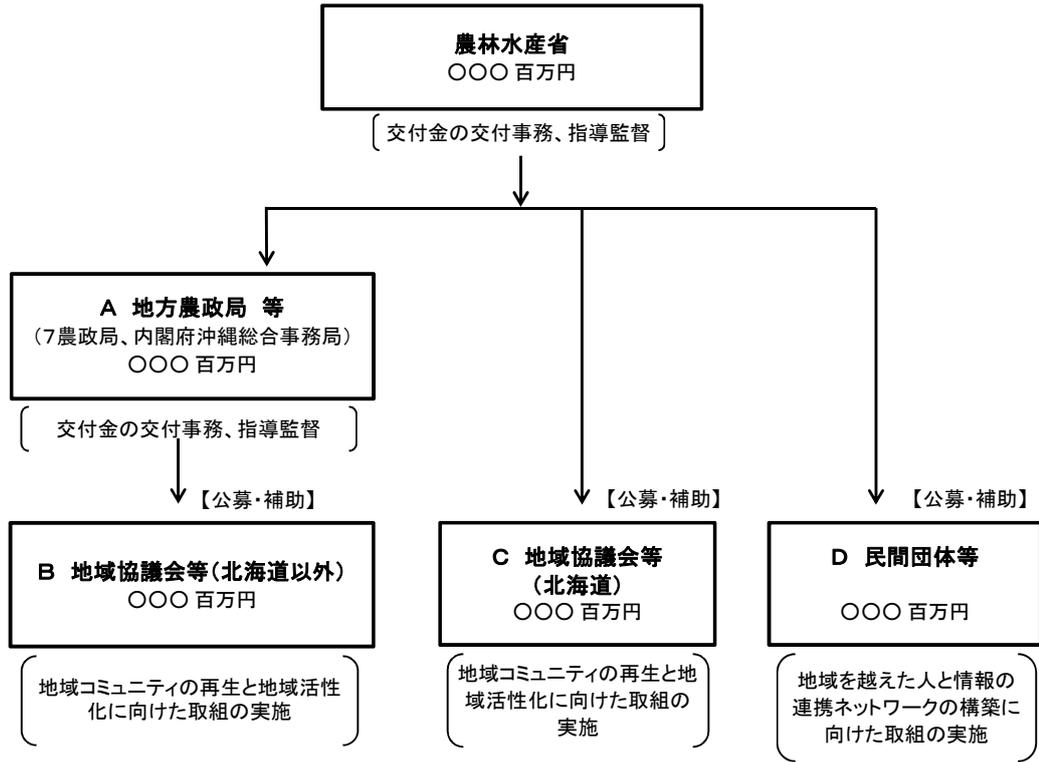


平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	農村地域力発揮総合対策交付金		担当部局庁	農村振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成28年度		担当課室	農村政策部都市農村交流課		都市農村交流課長 田中 秀明		
会計区分	一般会計		施策名	⑩都市と農村の交流等及び都市とその周辺の地域における農業の振興 ⑪農村の集落機能の維持と地域資源・環境の保全				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食料・農業・農村基本法第34条、第35条、第36条		関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画(平成22年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農業集落が中心となり、NPO、市町村等と連携した組織に対し、関係省庁連携の下、「食」を健康、教育、観光等に活用する地域の手づくり活動と暮らしの再生活動等を支援し、地域が持つ潜在的な地域力の発揮を通じて地域コミュニティの再生と地域活性化を図り、もって、食料の安定供給の機能と国土保全等の多面的機能の発揮を促進するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>1. 農村地域力発揮集落連携推進対策 中山間地域や平場農業地域を中心に、過疎化・高齢化等の進行に伴い地域コミュニティが脆弱化する中、農業・農村の活力再生を図るため、農業集落が連合体を形成し、NPO、市町村等と連携して取り組む活動に対して支援。具体的には、女性が中心となった食品開発などの6次産業化につながる「食」を活かした手づくり活動や豪雪・鳥獣被害の防止など暮らしの再生活動を対象。</p> <p>2. 「農」を活用したまちづくり推進対策 都市及びその近接地域を中心に、市民が「食」や「農」と触れあう場づくりを進めるため、農業者等が都市住民や多様な主体と連携しながら取り組む体験農園等の整備や防災農地の保全など「農」を活用したまちづくり活動を支援。</p> <p>3. 農村地域力発揮ネットワーク推進対策 「食」の持つ健康、教育、観光等の機能の発揮に向け、地域を越えた人と情報の連携ネットワークを構築し、関係省庁との連携の下、都市と農村のニーズのマッチングや専門家等の派遣、情報の発信等の取組を支援。</p> <p>4. 農村地域力発揮整備対策 「食」を活かした手づくり活動や暮らしの再生活動及び「農」を活用したまちづくり活動に必要な拠点施設等の補修等を支援。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	14,410	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値
	平地農業地域の人口の社会減の抑制 (平成32年度までに減少率の5%抑制) ※他の施策と相まって発現する効果である		成果実績	%	-	-	-	-0.52% (32年度)
			達成度		-	-	-	
	中山間農業地域の人口の社会減の抑制 (平成32年度までに減少率の5%抑制) ※他の施策と相まって発現する効果である		成果実績	%	-	-	-	-0.72% (32年度)
		達成度		-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域コミュニティの再生活動等の取組地域数		活動実績 (当初見込み)	地域	- (-)	- (-)	- (-)	- (650)
単位当たり コスト	-		算出根拠	執行額/活動実績				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	農村地域力発揮総合対策推進交付金	-	8,010	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(農林漁業再生戦略) 14,410				
	農村地域力発揮総合対策整備交付金	-	6,400					
	計	-	14,410					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】 ・本事業は、「食」を健康、教育、観光等に活用する地域の手づくり活動と暮らしの再生活動等を支援し、地域が持つ潜在的な地域力の発揮を通じて地域コミュニティの再生と地域活性化を図るための新規の事業であり、事業仕分け等において廃止などと結論づけられた事業や、その類似の事業とは異なる。また、これらの活動に当たっては、関係省庁との連携が重要であることから、関係省庁の施策との連携について検討を進めているところである。</p> <p>【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】 ・本事業は、「食」を健康、教育、観光等の領域で活用した手づくり活動等による地域コミュニティの再生活動等の取組地域数を活動指標としており、他の施策と相まって発現する効果として、定量的指標である平地農業地域及び中山間農業地域における人口の社会減の抑制という成果目標を設定している。また、実施地域の地域特性に応じて活動内容を選択できるようになっており、事業実施の際に、効率的な手段の選択が可能となっている。</p> <p>【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】 ・本事業は、我が国の豊かな「食文化」や「ふるさと」に対する関心が高まるとともに、都市住民の農山漁村への回帰の動きが顕在化する一方、農村地域では過疎化・高齢化の進行等により、地域コミュニティが脆弱化し、農村自らでは立ち行かず、食料の安定供給の機能と国土保全等の多面的機能の発揮が困難になることが危惧される中、「食」を健康、教育、観光等に活用する地域の手づくり活動と暮らしの再生活動等を支援し、地域が持つ潜在的な地域力の発揮を通じて地域コミュニティの再生と地域活性化を図り、もって、食料の安定供給の機能と国土保全等の多面的機能の発揮を促進するものであり、広く国民全体の利益に寄与し、国民のニーズに適切に対応するものである。</p> <p>【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】 ・本事業は、①「新たな食料・農業・農村基本計画」(平成22年3月30日閣議決定)の「農村コミュニティの維持・再生」並びに「都市及びその周辺の地域における農業の振興」、②「『食』に関する将来ビジョン」の加速化について(「食」に関する将来ビジョン検討本部(第7回:平成24年7月19日)了承)の「『食』を活用した新たな価値創造による農山漁村コミュニティの再生・地域活性化」、③「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)における「農林漁業—6次産業化する農林漁業が支える地域活力倍増プロジェクト」に示されている政策の基本方針に即し、具体的な施策として立案したものであり、農山漁村及び中山間地域等の振興等を任務とする当省のミッションである。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成25年度予定を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)